

## 教育貢献に関する報告書(平成 15 年度前期まで:過去 5 年程度)

新井康平([arai@is.saga-u.ac.jp](mailto:arai@is.saga-u.ac.jp))

### 1. 教育体制および教育制度に関する貢献

平成 12 年度理工学部将来計画委員会委員長として教育評価方法の検討、並びに、実施を行った。大学設置基準第 2 条自己評価等および佐賀大学評価実施規則第 2 条教育に関することに則り、教育自己点検評価方法を検討し、企画・立案・推進し、試行的に実施した。

### 2. 教育内容に関する貢献

以下に示す教科書を執筆した。

- (1) 情報基礎演習：学術図書出版、新井康平、森山雅雄、「情報基礎演習」、1995 年 11 月 20 日(第 1 刷)
- (2) 情報基礎演習：ムイスリ出版、佐賀大学全学教育センタ情報処理部会、「計算機リテラシー」、2003 年 3 月 24 日(第 3 刷)
- (3) 情報基礎概論：学術図書出版、新井康平他 9 名、「文系学生のための情報基礎概論」、2001 年 4 月 10 日(第 1 刷)、
- (4) 情報基礎概論：学術図書出版、新井康平、森山雅雄、「情報基礎概論」1995 年 4 月 1 日(第 1 刷)
- (5) 画像処理：学術図書出版、新井康平、「画像処理アルゴリズムの基礎理論」、2003 年 3 月 30 日(第 2 刷)
- (6) ベクトル解析：学術図書出版、新井康平、「画像処理のためのベクトル解析の基礎理論」、1999 年 4 月 10 日(第 1 刷)
- (7) パターン認識：学術図書出版、新井康平、「パターン認識の基礎理論」1999 年 9 月 30 日(第 1 刷)
- (8) システム理論 I：学術図書出版、新井康平、「リモートセンシングの基礎理論」、2001 年 4 月 1 日(第 1 刷)
- (9) システム理論 II、森北出版、新井康平、「ウェーブレット解析の基礎理論」、2003 年 9 月 11 日(第 4 刷)
- (10) パターン情報理解特論：森北出版、新井康平、「Java による地球観測衛星画像処理」、2001 年 6 月 20 日(第 1 刷)
- (11) 環境システム工学特別講義「リモートセンシング」：森北出版、新井康平、「地球観測衛星データの利用方法」、2000 年 1 月 11 日(第 1 刷)

### 3. 教育方法に関する貢献

#### (1) 加点(10 点)方式

講義内容に興味を持って積極的に参加するように、「講義中に発言した学生に 10 点ずつ加点する。」ことを講義開始に宣言し、実践している。これを行わない場合に比べ、学生の講義中の発言は飛躍的に増大し、講義内容への関心が高まり、理解度も向上した。発言内容は講義に反映し、改善に努めている。

#### (2) A4 用紙 1 枚持ち込み方式

講義を通じて学習した重要事項を A4 用紙 1 枚にまとめ、試験に持ち込むことを許可している。これを試験答案紙と一緒に回収し、評価対象にしている。このことにより、学生は試験勉強をすることになり、試験勉強の内容を教官はチェックできる。このチェックの結果を次年度の講義に反映し、改善に努めている。

### (3) 大学院生の研究成果発表

大学院生に研究成果の発表を義務付けている。年 1 回の(社)日本リモートセンシング学会学術講演会、同九州支部研究発表会において発表させている。同学会九州支部賞を新井が主指導に当たっている 3 名の大学院生が受賞している。

## 4. 教育環境に関する貢献

- (1) 平成 2 年度前期から学生による授業評価を実施している。このための様式をスタンフォード大学における様式を参考にして考案した。
- (2) 平成 14 年度インキュベート研究として、教員の教育評価システムを開発した。

## 5. その他教育一般に関する貢献

- (1) 全学教育センタの情報処理部会を立ち上げの際は、初代の情報処理部会長を仰せつかり、部会組織をオーガナイズするとともに「情報リテラシー」教育の目標、内容等を設定した。また、自らも「情報基礎概論」の教育を実施している。
- (2) JICA 国別特設インドネシア「高等教育行政と情報技術」研修(5 ヶ年プロジェクト)のコースリーダーとして、平成 13 年度から、自ら講師となるだけでなく、カリキュラムの編成、講師のオーガナイズ等研修の実施に必要な事項を担当した。
- (3) 理工学部広報誌 ScienTech に教育に関連する記事を平成 9,11,13,14 年度に執筆した。
- (4) 佐賀県高度情報化推進協議会インターネット研究部会(会長:新井康平)主催の IT 講習会を 2000 年から毎年実施している。自ら講師を務めるだけでなく、カリキュラムの編成、講師のアレンジ等を実施した。
- (5) 平成 14 年度文部科学省事業「21 世紀型産学官連携手法構築に係るモデル事業」の予算にて「創業大学」を開校し、自ら講師を務めるばかりでなく、カリキュラム編成、講師のアレンジ等を行い、学生に対する実際の応用教育を実施した。同様に科学技術共同開発センタのインキュベート室長として学生に対する教育を実践している。
- (6) 1998 年から米国アリゾナ州立アリゾナ大学光科学研究所の客員教授 (Adjunct Professor) への就任要請を受け、兼業許可を頂戴してこれに従事し、教育・研究指導に当たっている。
- (7) 平成 13,14 年度に JICA 短期派遣専門家としてインドネシア、スラバヤ市 EEPIS に派遣され、情報技術カリキュラムの編成、シラバス設計、講義方法の伝授等を実施している。